



ぐんま“まちづくり”ビジョン シンポジウム

群馬県 県土整備部 都市計画課

群馬県都市計画協会と群馬県主催による「ぐんま“まちづくり”ビジョン シンポジウム」が平成29年7月13日(木)、群馬会館(2階)ホールで開催されました。

基調講演「立地適正化計画策定を契機とした土地利用コントロールの再考」

立地適正化計画策定における難所や総合的な土地利用計画との関連性などについて、横浜市立大学 国際総合科学部 中西正彦准教授にご講演いただきました。



講演の中では、立地適正化計画の役割やその制度の性格を説明していただいたうえで、立地適正化計画策定におけるジレンマについてお話いただきました。立地適正化計画の策定・運用には、様々なジレンマが存在しますが、計画の目的の確認や共有をするなどして、それらのジレンマに取り組みなければならないとわかりました。また、立地適正化計画を有効に運用するには、行政全体で取り組み、計画の継続的な見直しや開発許可制度運用との連動を図っていくことが大切だそうです。今回の講演内容を生かし、ジレンマの解決方法について考えていきたいです。

中西准教授、大変貴重なご講演をありがとうございました！

事例発表「伊勢崎市アクションプログラム」

伊勢崎市が平成29年3月に策定した「伊勢崎市アクションプログラム」について、伊勢崎市都市計画課の榎原主査が事例発表を行いました。

本シンポジウムのタイトルになっている、「ぐんま“まちづくり”ビジョン」は、人口減少・超高齢社会における「まち」の将来像を示すために、県が平成24年に策定しました。「ぐんまらしい持続可能なまち」を実現するために、各市町村が取り組むべき内容を示したものとなっており、紹介された「伊勢崎市アクションプログラム」は、今後、伊勢崎市が取り組む内容を示した計画です。



「群馬県まちづくり功労者表彰」は、道の駅 川場田園プラザ が表彰されました！



群馬県まちづくり功労者とは、魅力あるまちづくりの推進に顕著な功績のあった個人、団体もしくは市町村に対し、群馬県知事より感謝状を贈呈するものです。

今年度受賞した道の駅 川場田園プラザは、平成4年度から整備を開始し、平成10年度にグランドオープンしました。その後、村民と来園客の両方に信頼される道の駅を目指して向上を重ねた結果、現在では、人口3,700人の村において、年間に180万人を誘致し、地元雇用約100人、村内農家の9割以上にあたる420人が出荷登録しています。このように観光・雇用・地場産業の支援など、多方面から地域の活性化を促進しており、中山間地域におけるまちづくりの拠点として、顕著な功績を残したことから今回の受賞となりました。

「群馬県まちづくりファシリテーター」に30名の方々が認定されました。

ファシリテーターとは、「交渉などを円滑にする」という意味を持ち、ワークショップの開催・進行にあたり、参加者の意見を引き出して議論を円滑に進める補助者・調整役のことです。群馬県では「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」を開催し、入門編・発展編・応用編を全て受講された方には、県内のまちづくりを担う人材として群馬県知事より「群馬県まちづくりファシリテーター」の称号を授与しています。今年度の認定者は下記の通りです。



- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 岡田達郎さん | 加寿 明さん | 黒澤美智代さん | 池田道成さん |
| 小川凌平さん | 池田純也さん | 栗原 晟さん | 星野慶喜さん |
| 新井 諭さん | 柳沢宗範さん | 永井大資さん | 手塚幸佑さん |
| 三宅悠喜さん | 吉村昭和さん | 三輪俊介さん | 木村洋輔さん |
| 萩原稜将さん | 宮澤 税さん | 松田拓也さん | 小金澤亮太さん |
| 杉木佐与子さん | 栗原史剛さん | 赤石哲規さん | 橋本堅一さん |
| 小川哲也さん | 田中 岳さん | 樋口真奈美さん | 柏木美沙子さん |
| 谷川真希夫さん | 中島恵美さん | | |